

2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月29日

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 隆夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 富雄

TEL 06-6266-7300

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 59,327 | 3.5 | 1,595 | 14.7 | 1,530 | 18.7 | 1,017 | 19.1 |
| 2018年3月期第2四半期 | 57,341 | 0.7 | 1,870 | 15.4 | 1,882 | 28.1 | 1,258 | 19.5 |

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,444百万円 (21.7%) 2018年3月期第2四半期 1,844百万円 (111.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 123.37 | |
| 2018年3月期第2四半期 | 150.31 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 66,783 | 34,508 | 51.7 |
| 2018年3月期 | 61,031 | 33,418 | 54.7 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 34,503百万円 2018年3月期 33,412百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | | 0.00 | | 47.00 | 47.00 |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2019年3月期(予想) | | | | 47.00 | 47.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 118,000 | 3.0 | 3,900 | 22.7 | 4,000 | 28.4 | 2,400 | 45.1 | 290.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2019年3月期2Q | 10,568,000 株 | 2018年3月期 | 10,568,000 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2019年3月期2Q | 2,305,932 株 | 2018年3月期 | 2,320,931 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2019年3月期2Q | 8,251,355 株 | 2018年3月期2Q | 8,373,792 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2018年5月14日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (会計上の見積りの変更) | 10 |
| (追加情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移しました。しかし、消費者の節約志向は依然根強く、人手不足による人件費の高まりと物流費用の上昇に伴うコスト増や、海外では米国政権における保護主義の強まりが世界的な景気減退に発展しかねない状況にあり、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当連結会計年度は当社グループが進めている3カ年の中期経営計画「SPARKS 2020」の2年目にあたり、「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の3点を重点方針とし「新しい商社像」を示せるリーディングカンパニーとなるべく、その実行に向けて差別化商材の供給力強化や優良取引先との取り組み深耕、国内外のグループ経営基盤の強化に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は59,327百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は1,595百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益は1,530百万円（前年同期比18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,017百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

[繊維セグメント]

<原料分野>

原料分野は、天然繊維原料につきましては、取り巻く市場環境がより悪化しつつあり、同業他社では縮小や一部撤退を余儀なくされるなど、誠に厳しい状況となりました。一方、合成繊維原料は、加工糸及び備蓄糸の販売が好調に推移し、作業用手袋や車両内装材向け原料など高付加価値商材の需要が増加するなど、堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、テキスタイル分野との連携による相乗効果の創出を推進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により、経費削減による収益基盤の構築に努めるとともに、売上の維持・拡大を図りました。

この結果、原料分野の売上高は9,427百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

<テキスタイル分野>

テキスタイル分野は、国内衣料品の需要が依然、低迷しており、主力のニット生地や綿織物は苦戦を強いられました。一方で、高密度の合繊織物は引き続き好調に推移しており、資材関連や衣料品の中ではスポーツ向けが底堅く推移しました。

このような状況の下、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との合同展示会開催による販売強化に努めました。また営業組織の変更に伴う原料分野との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は7,669百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

<繊維二次製品分野>

繊維二次製品分野は、ゴールデンウィークまでは気候に恵まれましたが、梅雨が明けてからは記録的な猛暑が続き、その後は断続的に大型台風と豪雨に見舞われるなど、店頭での衣料品販売は少なからず影響を受けました。このため、顧客の消費マインドはECサイト等への移行がより顕著となりました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負い製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル分野との協業やブランドビジネスの発想を取り入れた新規オリジナル商材の開発を加速し、市場での競争力強化に努めました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は39,918百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

[不動産セグメント]

当第2四半期連結累計期間における不動産セグメントの売上高は217百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,663百万円増加し、51,004百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、15,778百万円となりました。これは、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,739百万円増加し、26,703百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、5,571百万円となりました。これは、その他固定負債のうち長期未払金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加し、34,508百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,017百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想(2018年5月14日に発表しました連結業績予想)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,985,756 | 3,838,989 |
| 受取手形及び売掛金 | 26,735,758 | 30,741,241 |
| 電子記録債権 | 6,744,497 | 6,925,822 |
| たな卸資産 | 7,116,397 | 8,288,997 |
| その他 | 1,005,849 | 1,467,082 |
| 貸倒引当金 | △247,289 | △257,630 |
| 流動資産合計 | 45,340,969 | 51,004,502 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,734,700 | 4,625,050 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 644,671 | 487,645 |
| その他 | 143,436 | 203,522 |
| 無形固定資産合計 | 788,108 | 691,167 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,890,711 | 7,051,330 |
| その他 | 3,793,596 | 4,007,910 |
| 貸倒引当金 | △516,163 | △596,618 |
| 投資その他の資産合計 | 10,168,145 | 10,462,622 |
| 固定資産合計 | 15,690,954 | 15,778,839 |
| 資産合計 | 61,031,924 | 66,783,342 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,372,841 | 11,798,365 |
| 電子記録債務 | 1,671,165 | 1,898,061 |
| 短期借入金 | 2,532,116 | 5,071,487 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,225,704 | 2,225,704 |
| 未払法人税等 | 170,695 | 608,791 |
| 賞与引当金 | 459,925 | 456,557 |
| その他の引当金 | 140,984 | 24,840 |
| その他 | 4,391,118 | 4,619,871 |
| 流動負債合計 | 21,964,551 | 26,703,678 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,670,758 | 2,657,906 |
| 繰延税金負債 | 503,839 | 682,737 |
| 引当金 | 47,912 | 52,912 |
| 退職給付に係る負債 | 1,033,712 | 1,006,114 |
| その他 | 1,393,068 | 1,171,766 |
| 固定負債合計 | 5,649,289 | 5,571,436 |
| 負債合計 | 27,613,841 | 32,275,115 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,088,000 | 1,088,000 |
| 資本剰余金 | 843,601 | 863,716 |
| 利益剰余金 | 31,233,156 | 31,864,068 |
| 自己株式 | △1,933,415 | △1,920,921 |
| 株主資本合計 | 31,231,343 | 31,894,863 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,269,389 | 2,461,771 |
| 繰延ヘッジ損益 | △70,919 | 176,923 |
| 為替換算調整勘定 | 13,180 | 14,859 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △30,029 | △45,280 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,181,620 | 2,608,273 |
| 非支配株主持分 | 5,117 | 5,090 |
| 純資産合計 | 33,418,082 | 34,508,227 |
| 負債純資産合計 | 61,031,924 | 66,783,342 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 57,341,101 | 59,327,231 |
| 売上原価 | 49,419,587 | 51,352,733 |
| 売上総利益 | 7,921,514 | 7,974,498 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,051,154 | 6,378,833 |
| 営業利益 | 1,870,360 | 1,595,664 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9,577 | 7,664 |
| 受取配当金 | 78,727 | 144,435 |
| 為替差益 | 28,841 | - |
| その他 | 48,664 | 37,802 |
| 営業外収益合計 | 165,810 | 189,902 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30,688 | 34,029 |
| 売上割引 | 11,756 | 11,637 |
| 貸倒引当金繰入額 | 62,892 | 76,677 |
| 為替差損 | - | 3,168 |
| 持分法による投資損失 | 34,886 | 119,515 |
| その他 | 13,806 | 10,190 |
| 営業外費用合計 | 154,030 | 255,218 |
| 経常利益 | 1,882,140 | 1,530,348 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 17,962 | 61,168 |
| 投資有価証券売却益 | 15,867 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 53,657 | - |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 98,673 | - |
| 特別利益合計 | 186,159 | 61,168 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | 12,673 | - |
| 関係会社株式評価損 | 129,699 | - |
| 特別損失合計 | 142,373 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,925,926 | 1,591,517 |
| 法人税等 | 667,080 | 573,460 |
| 四半期純利益 | 1,258,846 | 1,018,056 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 163 | 72 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,258,682 | 1,017,984 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,258,846 | 1,018,056 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 518,257 | 192,372 |
| 繰延ヘッジ損益 | 80,414 | 247,842 |
| 為替換算調整勘定 | △9,913 | 1,678 |
| 退職給付に係る調整額 | △3,328 | △15,251 |
| その他の包括利益合計 | 585,431 | 426,642 |
| 四半期包括利益 | 1,844,277 | 1,444,699 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,844,067 | 1,444,637 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 209 | 61 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,925,926 | 1,591,517 |
| 減価償却費 | 126,232 | 121,258 |
| のれん償却額 | 143,393 | 157,026 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 76,133 | 90,796 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 11,279 | △3,368 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △95,500 | △54,500 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | △18,235 | △61,643 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 34,136 | △31,013 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △125,358 | △132,168 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △33,600 | 5,000 |
| 関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少) | △40,063 | - |
| 債務保証損失引当金の増減額(△は減少) | △98,673 | - |
| 保険解約返戻金 | △17,607 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | △88,305 | △152,099 |
| 支払利息 | 30,688 | 34,029 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 34,886 | 119,515 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △3,194 | - |
| 固定資産除売却損益(△は益) | △17,616 | △60,993 |
| 関係会社株式評価損 | 129,699 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △5,416,635 | △4,179,097 |
| 固定化債権の増減額(△は増加) | △9,340 | 1,977 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △487,388 | △1,171,786 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,246,663 | 1,651,467 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 425,242 | 217,783 |
| その他 | △179,217 | △263,930 |
| 小計 | △2,446,450 | △2,120,232 |
| 利息及び配当金の受取額 | 86,839 | 149,160 |
| 利息の支払額 | △29,955 | △33,741 |
| 法人税等の支払額 | △643,722 | △143,620 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △3,033,288 | △2,148,434 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △263,826 | △64,041 |
| 定期預金の払戻による収入 | 374,823 | 64,802 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △38,865 | △54,972 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 18,550 | 109,366 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,135 | △59,398 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △25,610 | △6,067 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 204,611 | 5,000 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △612,254 | - |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 358,303 | - |
| 関係会社株式の取得による支出 | △131,170 | - |
| 関係会社出資金の払込による支出 | △310,083 | - |
| 保険積立金の解約による収入 | 76,967 | - |
| 貸付けによる支出 | △686,952 | △635,062 |
| 貸付金の回収による収入 | 561,228 | 499,753 |
| その他 | 73,333 | △2,986 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △402,081 | △143,606 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 20,645 | 2,531,121 |
| 長期借入金の返済による支出 | △317,540 | △12,852 |
| 自己株式の取得による支出 | △328,900 | △1 |
| 自己株式の売却による収入 | 19,926 | - |
| 配当金の支払額 | △391,608 | △383,861 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △997,475 | 2,134,405 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,573 | 11,627 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △4,429,272 | △146,006 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,555,741 | 3,511,284 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,126,468 | 3,365,278 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。